

宮崎県拠点（国富町）



きゅうり



ピーマン



木質バイオ

- 高度なICT技術を活用した高生産性の栽培管理システムの構築。
- JAの担い手育成システムと連携し大規模・集約化のモデルとして地域へ波及。



イメージ図

コンソーシアム名及び構成員

名称	宮崎中央地域次世代施設園芸団地運営コンソーシアム
構成員	ジェイエイファームみやざき中央、JA 宮崎中央、JA 宮崎中央会、JA 宮崎経済連、宮崎県農業振興公社 九州オリンピック工業、サンクールシステム、富士通、宮崎県、宮崎市、国富町

品目	面積	目標収量（単収）
ピーマン	2.3ha	345t（15t/10a）
きゅうり	1.8ha	450t（25t/10a）

区分	事業実施概要
拠点整備	①温室、②木質バイオマスボイラー、③種苗生産施設、④集出荷施設 を整備
技術実証	複合環境制御システム（UECS）を核として、①高度な多収栽培技術や②木質バイオマス暖房機等の有効活用によるコスト削減技術、③栽培管理履歴・生育データを取り込んだ高度生産管理システムを組み合わせた、「統合型施設園芸生産支援システム」の導入・実証
その他取組	天敵を活用した減農薬栽培等、環境保全型農業の実践



UECS の概念図

木質ペレット暖房機

拠点を研修の場として活用

拠点で生産されたきゅうりとピーマン